

第1回

「傷寒論」を学び、症例検討会で実践力をつけましょう

臨床漢方症例検討会

傷寒論を学ぶ



「漢方薬」を効果的に活用するために読むべき書籍の一つが『傷寒論』である。消化器系や循環器系といった各系統器官の病態や役割を記述する形の西洋医学とは異なり、『傷寒論』はどういった症候にどの漢方薬を用いるか、つまり病人さんへの治療指示のみが記されている。紀元200年頃(後漢代)には、ほぼ現代まで伝わる形で編纂されており、一般的には張仲景の編集とされるが、古代からの治療薬を整理し、中央集権国家が成立することで初めて薬方として成立してきた医療の実際を再編集したもので、彼の病理観に基づいて体系化されたことが窺える。

三谷 和男 医療法人三谷ファミリークリニック 理事長・院長

【略歴】

1983年 鳥取大学医学部医学科 卒業

1983年 大阪大学大学院医学研究科博士課程(集団社会医学概論・中川米造教授)

1986年 和歌山県立医科大学神経病研究部(現・脳神経内科学 八瀬善郎教授)

1993年 木津川厚生会加賀屋病院

2003年 京都府立医科大学東洋医学講座 助教授(07年より准教授)

2007年 三谷ファミリークリニック開設

2009年 京都府立医科大学 漢方外来 特任教授

2014年 奈良県立医科大学大和医学薬学センター副センター長 特任教授

2021年 京都府立医科大学総合医療医学教育学教室(漢方外来) 特任教授



三谷和男先生はかの有名な漢方医三谷和合先生のご子息様で、大阪大学医学部中川米造教室にて博士号をご取得し、京都府立医科大学総合医療医学教育学教室漢方外来、奈良県立医科大学大和医学薬学センター副センター長でいらっしゃいます。2024年には日本東洋医学会会長を務められ、2007年から大阪府堺市にて三谷ファミリークリニックを開業なさり、日々患者さんのご対応でお忙しいお医者様です。今回はその三谷和男先生に症例検討会にて、皆様からご提出頂きました症例をご一緒に検討して頂きます!お楽しみになさって症例ご提出、そして当日ご参加を謹んでお待ちしております。

狭間 紀代 一般社団法人 日本在宅薬学会 臨床漢方研究部会 会長

日時

4月26日(日) 14:00~17:00

会場

【リアル】 ファルメディコ株式会社 本社2F 研修室

【オンライン】 Zoomによるオンライン会場

定員

【リアル】 21名

【オンライン】 20名

受講資格

- ・漢方ディレクターの資格を持つ者
- ・ベーシック漢方セミナーを最低1回受講済みの会員

プログラム

- ご挨拶
- 三谷先生 講義
——休憩——
- 症例検討会(2症例)
 - ①狭間紀代 講義
 - ②グループディスカッション
 - ③各チーム 検討発表
- まとめ

臨床漢方症例検討会では!

ご提出いただいた症例から漢方研究部会狭間紀代が2症例採用致します。ファシリテーターおよび、症例採用者の当日の受講料は10,000円とさせていただきます。

※症例は目的以外には使用致しませんのでご安心下さい。

受講料

【通常】 19,000円(税込)

【症例採用者】 10,000円(税込)

【ファシリテーター】 10,000円(税込)

単位

2.0単位



お申し込みはこちら



一般社団法人
日本在宅薬学会

〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋1-9-5 アドバンス天神橋3F

TEL:06-4801-9566/FAX:06-4801-9556